



ラグビーワールドカップ2019™

豊田スタジアム 世界最高のラグビーを楽しもう!

ラグビーワールドカップ2019
愛知・豊田開催支援委員会
ニュースレターVOL. 9
(2018年3月)

ラグビーワールドカップ2019愛知・豊田開催支援委員会は、ラグビーワールドカップ2019™（以下、RWC2019と略します）の成功に向け、様々な活動を進めています。今回は、主に2018年2月、3月の活動報告とRWC2019関連情報をお伝えします。

■海外メディアが豊田市の取材に来日しました



2月2日（金）・3日（土）の2日間にわたり、RWC2019日本大会で豊田スタジアムでも試合を行い、前々回及び前回大会の優勝国であるニュージーランドからラグビー専門誌「NZ RUGBY WORLD」の記者（グレゴリー・ポール氏）が来日し、豊田スタジアムを始め、トヨタ会館や三州足助屋敷などの取材を行いました。

■南アフリカ代表のコーチ陣が豊田スタジアム及びキャンプ地を視察しました

2月15日（木）に南アフリカ代表チームのスタッフがキャンプ地及び豊田スタジアムを視察しました。視察は非公開で行われましたが、視察の最後にはメディアへの囲み取材が行われました。ラグビーディレクター（当時）のヨハン・エラスムス氏は「世界で有数のスタジアム。プレーできるのが光栄」とコメントされました。



■豊田市長、豊田市議会議長がニュージーランドでトップセールスを行いました

2月17日（土）から22日（木）までの6日間で豊田市長及び豊田市議会議長がニュージーランドのオークランド市を訪問し、RWC2019に向けて豊田市のPRを行いました。具体的には、ニュージーランドラグビー協会やオークランドラグビー協会、ニュージーランド観光協会など11団体を訪問し、豊田市の観光名所や地元文化の紹介を行いました。また、今回の訪問によっ

て、地元ニュージーランド人の趣味や嗜好、今後のアドバイスなど、様々な情報を入手することができました。



■開催都市住民先行チケット販売イベントを実施しました

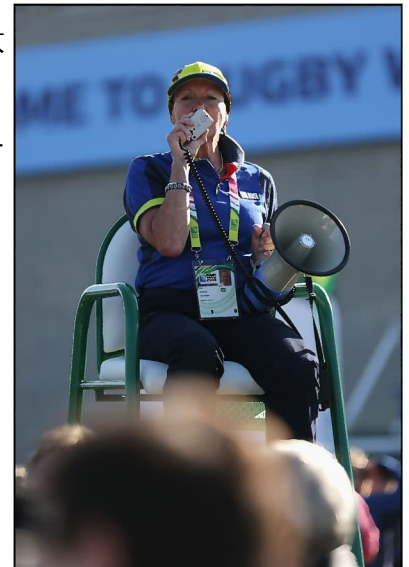
開催都市（愛知県・豊田市）の住民を対象とした「開催都市住民先行抽選販売」が3月19日（月）から開始されることに伴い、オアシス21及び名古屋テレビ塔を赤色にライトアップするセレモニーを実施しました。セレモニーには、大村愛知県知事、太田豊田市長、RWC2019組織委員会嶋津事務総長らが出席しました。また、チケットの申込みに必要なチケットID登録のPRブースやラグビー体験ブースの設置、チアリーダーによるステージショーなどワールドカップを盛り上げるイベントも併せて行いました。



■RWC2019日本大会公式ボランティアプログラムの概要が決定しました

RWC2019組織委員会は、日本大会における公式ボランティアプログラムの名称を「NO-SIDE」とし、募集概要を決定しました。全国で約10,000名で構成されるボランティアプログラムの参加者には、世界中から日本を訪れる全ての方々に温かいホスピタリティで迎え、ラグビーの価値と母国の魅力を伝える大会の顔として活躍していただきます。

ボランティアの募集受付は、4月23日（月）正午からラグビーワールドカップ大会公式ウェブサイトにて開始します。面接等を経てボランティア参加者が決定した後、2019年から研修を行い、RWC2019日本大会に備えます。詳細は、後日大会公式ウェブサイト上で発表されます。



■ RWC2019チケット先行抽選販売について

2018年 3月19日（月）～ 4月12日（木） 開催都市住民先行抽選

4月19日（木）～ 5月12日（土） ラグビーフレンズ^{※1}先行抽選

5月19日（土）～ 6月26日（火） サポートークラブ会員先行抽選

※1：JRFU登録チームのOB及びOG、トップリーグ出場チーム所属企業の従業員・ファンクラブ会員の方

■ 豊田スタジアムでのラグビー情報

2018年 6月17日（日） 愛知・豊田ラグビーフェスタ2018

第1試合 同志社大学 対 慶應義塾大学 12：00 キックオフ

第2試合 早稲田大学 対 明治大学 14：00 キックオフ

6月23日（土） リポビタンDチャレンジカップ2018

日本代表 対 ジョージア代表 14：45 キックオフ